

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 2月 26日

事業所名: 特定非営利活動法人シュアスタート和歌山

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	29	1	広く、子ども達の手の届くところに危険なものが置かれていない/年齢人数に応じたスペース/利用者別の支援課題別にスペースを確保しており手厚い/時間やこどもの様子で移動したりしている	長期休暇の時は利用者さんも多く少し狭く感じるときもある/室内で運動遊びをするときは広い空間が必要/食事の時走り回れるスペースがあるので仕切りがあればよい
	2	職員の配置数は適切であるか	27	6	各クラス協力している/こどもの人数に対し手厚い対応が出来る	長期休暇時など少なくなる時もあるが、無理な受け入れをせずに安全が保てるよう調整している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	5	子どもがいるスペースに余計な物が置かれていない/バリアフリー化はされていないが、情報伝達はされている/落ちていて過ごせる/伝達方法はまだまだ方法があると思う/室内は安全マットを敷くなどして安全面に気を付けている	自分の荷物をカゴに入れているがロッカーなどに入れるようにし「自分の物を置く場所」と認識できるとよい/部屋の入口の段差は少し危ない気がする/クールダウン室があるといよい/部屋の出っ張り(衝突)、外への出入り口のゲート(指詰め)/ドアの開け閉めで引き戸にした方が安全なのかなど考える部分もある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	0	子ども達がのびのび楽しく過ごせるように思う/机イスおもちゃ等の消毒の実施・毎日の掃除消毒/常に清潔さを保ち広い空間である	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	28	1	ミーティングを行い改善に努める/事業に携わる事務局と正職はよく理解しているが非常勤職員まで周知できていない部分がある	職員の人数が多いことはメリットがあるが、周知する部分ではデメリットも発生しやすくなることを踏まえて、より繰返しの伝達や職員1人1人の責任感の向上を目指す
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	30	0	基本的に保護者の意見や要望に対して支援体制を整備している/常に歩土砂と真摯に向き合い意向を取り入れ業務改善に努めている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	30	0	出来る限り事業内を公開し質の向上に努めより良い支援になる様にする	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	23	0	保護者様にご契約時に第三者による相談窓口について説明している	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	32	1	現在はコロナにより自粛しているが実施していた/毎月定期的に行っており資料等配布/保育療育の研修でこれからも学びたい事が多い/研修の回数を増やしてほしい	保護者様より短縮が多いこと指摘を受け、職員が学ぶ機会を作れずにいる、どのような体制を取っていくと保護者様や職員にも納得していただけるか改善の課題の必要がある。サービス提供時間の変則を行わずに研修時間を設けることのできるよう来年度は重要な課題として交代制を行っていく方針。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	32	1	個別支援計画の作成	各クラスで支援内容の課題整理や成長の記録、評価等をこまめに話しあったことを活動に活かしている／保護者の希望を理解できる限りの柔軟に対応している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	29	0	2か月ごとの評価の作成／発達評価を定期的に行っている	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	31	1	1人1人にあった支援内容を考えている／クラスミーティングをして定期的に話し合っている	支援目標が高くなりすぎないように気をつけている／お子様自身が喜びにつながる体験を各クラス毎月計画している。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	30	1	運動、音楽療育専門機関による指導を実施	保護者様の希望や期待、アセスメントにて聞き取り内容を理解し、求められている療育を取り入れ提供する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	29	2	ミーティングを取り組む、定期的なクラス会議の実施／各クラスで計画し実行	各クラスのチームワークを強化させたい／本音を話してほしい／研修以外にも自身で学ぶこともでき学習している／専門資格を取得
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	29	1	月案を作成し日々固定化していないか確認／いろいろな話し合いや意見を出し合う／改善できるよう努力している	非常勤の職員が家庭の都合上、会議に参加できないことがあるため、日々の内容の中で工夫し改善に努めていることに気がついていない
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	20	0	課題別に取り組んでいる／学習支援日、金曜日その他の曜日は個別に課題取り組みを行う	
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	32	0	個別活動とグループ活動、交流活動などを取り入れている。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	32	1	毎朝支援開始前には会議、受け入れ準備を行っている／現在毎朝ミーティングを実施／毎日している／家庭の様子なども確認しあい配慮が必要な事柄について周知するためのミーティングである	毎朝のミーティング引き継ぎ事項の確認がきちんとできている／運番の出動者は自ら確認事項を行うよう指導しているが、すぐに業務に入るため理解不足になりやすさを防ぎたい
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	29	3	1日を振り返り問題点改善点の話し合いを実施／当日中は難しいことも多いが翌日以降に伝達しあう／各クラスで実施／仕事の時間などを異なっているが次の日に業務日報で確認取れている	その都度、必ず打合せする時間を作れていない／まとめて話し合うこの時間を作ることで精一杯。課題整理の時間をもっと作りたい／自分で考え積極的に行動の取れる人材に成長していけるように職員同士でも育みあっている
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	34	0	バスの中での日々の様子問題点を連絡ノートで共有しているのは良い／記録を毎日とり職員間で共有／毎日細かく記録を残し保護者に報告		
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	30	1	6か月に1回(3か月に発達記録作成)毎日希望される家庭には面談など対応している	ご利用初回月から、どのくらい発達成長の変化があるのか1ヶ月～2ヶ月に1回のペースでモニタリングを行う場合もある。	

	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	18	1	行っている、職員や保護者様がいつでも見れるようにガイドラインをファイルしている。療育型、居場所型のサービスに対する考え方を理解し学習しながら工夫している	ガイドラインの総則がわからない
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	29	0	管理者、及び主任、直接支援員等が参加している。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	31	0	保健センター・こども総合支援センター・児童相談所などの連携がある／連携をもっと図っていききたいと思う	参観などをして保護者の方に保育を見てもらう機会があると良いと思う
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	25	0	保護者様より	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	24	0	週に1回利用されている行政や他の事業所などと連携を取っている	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	23	1	保護者より医師の指導要項を預かっている	支援機関が連携会議を行い、特別支援計画書の作成を行なった
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	31	0	保育所等訪問がある／就園就学に向けて保護者が希望される場合訪問したり署名委作成などを行っている	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	30	0	保育所等訪問がある／就園就学に向けて保護者が希望される場合訪問したり、引き継ぎ書の作成を行っている	
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	24	0	就園就学に向けて保護者が希望される場合訪問したり署名委作成などを行っている	
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	13	2	現在対象者なし	まだ受け入れていない
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	21	2	他の事業所や専門機関と常に連携している	

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	20	3	放デイの交流会は実施／常に交流の機会を作っている頻繁である	地域の幼稚園等と交流を持つと視野が広がると思うが、コロナ禍で実施できない、計画もできていない／園内で保育利用者との交流の機会は常に行っている
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	13	4	職務から離れる事が出来る限り参加を希望している	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	32	0	日ごろから保護者の話を聞くようにしている／連絡ノートで伝えたり、登降園時伝えたりしている／毎日活動内容の記録を保護者に発信／保護者との連携をもっと図っていききたい	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	17	1	支援プログラムとはいかないが、会話を通して協力しあう関係性を深めることへの意識を持ち対応を心かけている	トレーニング支援が出来ているかわからない
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	29	2	HP等で見ている／契約時に理事長が説明を行っている／丁寧な説明をしている	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	26	0	契約時に聞き取りを行い、原案、ケース会議を行った上で支援の方向性を確定し、ご支援開始前に保護者に説明し同意を得ている、生活環境が変わったり、支援内容の変更が必要と判断した際には、その都度、計画を組み直している。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	32	0	バスの中の様子や友だちとの関わりを保護者に伝えるようにしている／連絡ノートで伝えたり、登降園時、面接などで行っている。適切な助言が出来るよう努めていきたい／常に行っている	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	12		保護者同士の交流があれば共感情報交換が出来てよい／時間を作る事が出来ていない希望があるかどうかアンケート調査を行う／父母の会はありません／まだまだ不十分
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	0	相談体制を整え、相談できることを周知できるようにしていく／充分な対応が出来ていると自負している／日ごろからコミュニケーションを取っている	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	21	6	定期的な会報の作成は行っていないが、活動の様子を個別に家庭に発信している／おたよりがある／書面ではないがホームページネットシステムを活用し発信している	療育を受けていただいている間は、保護者様にとって、どんな様子なのか気になる心情を理解し設立当初から、活動風景を保護者に見ていただき安心して頂くための発信を行ってきた
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	35	0	就業中に知り得た情報は外部に出さないよう心掛けている／口外しない自宅へ持ち帰らない等十分注意しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	33	0	保護者様が感じている心配事は担任に知らせるようにしている。連絡ノートに書いてもらったり保護者との信頼関係を築く努力をしている／意思の疎通ができるよう信頼関係ができるよう努めていきたい	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13	7	現在は行っていないが見学などを希望された時はお越しいただいている	今年はコロナもあり難しかったと思う／しているがまだまだ不十分
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	30	1	クラス別に訓練を実施。バス走行中の緊急時対応、避難場所保護者への連絡等／定期的に会議を行い見直し訓練を繰り返していく／不定期ではあるが行っている	コロナ禍で避難訓練に対する意識が少し低くなっていると思う／予防対策に対する意識は高くなっており徹底している
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	31	1	発声した時の子どもの様子を推測しておき避難用具見直し等しっかりしておく／今年度はコロナ予防対策を優先していたが備えや職員によるシュミレーション等を行っている	コロナ禍で少し意識は低くなっていると思う／避難具の見直しや避難経路の散歩を行うようにしている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	31	0	事前に情報取扱いプロフィールを確認、その日の体調などを確認しバスでは子どもの様子を確認するよう心掛ける／伝達不足がないよう改めて保護者に確認し職員間で漏れが内容共有しておく	予防接種に対する把握が不十分である
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	26	0	医師からの直接の指導はないが、保護者から注意点を確認し職員で留意点を周知している	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	28	0	未然に事故を防ぐため、各自危険を察知した際は作成し回覧している	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	24	3	研修会はコロナにより自粛／定期的な職員研修を行っている／研修会を開く前も常に業務連絡として防止に関する対応など指導している	補助職員や非常勤職員による周知が困難な現状もある、内容によっては自己研鑽自己啓発に努めているが、連携不足にならないよう気をつけたい
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	18	3	やむを得ず拘束が必要な子どもは現時点ではない／対象者なし	送迎支援を行う際、チャイルドシートの着用が困難な幼児が存在するが、無理やり着用することのないように、安心感を提供し、落ち着いて乗車できるよう相談しあっている。短時間コースにするなど工夫している

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。